

2024 年度事業報告

1. 会議の開催

1) 定時総会（定時 1 回開催）

(1) 2024 年度定時総会（第 60 回）

2024 年 6 月 28 日（金）10：00～11：00 Zoom オンラインによる

2) 理事会（通常年 2 回開催）

(1) 2024 年度第 1 回理事会

2024 年 6 月 24 日（月）13：00～15：00 Zoom オンラインによる

(2) 2024 年度第 2 回理事会

2025 年 3 月 27 日（木）開催予定 13：00～15：00 Zoom オンラインによる

(3) 2024 年度第 1 回臨時理事会

2024 年 11 月 14 日（木） 15：00～17：00 Zoom オンラインによる

3) 評議員会（定時 1 回開催）

(1) 2024 年度定時評議員会〔前項 2）-(1) 2024 年度第 1 回理事会 と合同開催〕10：00～11：00
Zoom オンラインによる

4) 幹事会

(1) 2024 年度第 1 回幹事会：2024 年 6 月 10 日（月）10：00～12：00 Zoom オンラインによる

(2) 2024 年度第 2 回幹事会：2025 年 3 月 10 日（月）13：00～15：00 Zoom オンラインによる

*第 2 回幹事会は運営委員会と同時開催

5) 各種委員会

2024 年度第 1 回運営委員会：2024 年 10 月 30 日（水）15：00～17：00 Zoom オンラインによる

2024 年度第 2 回運営委員会：第 2 回幹事会と同時開催

2024 年度学会誌編集委員会

三林編集委員長より、今後の編集委員会事務局に関する検討が委員会内でなされ、(株) ドーモから
(株) リリパットアートに事務局を移行した

他に委員会としての単独開催はこれまで実績なし

研究企画委員会の委員は、自工会・損保協会と会合実績あり

倫理委員会はメール審議にて 1 件の倫理審査を一部修正の上承認

2. 調査・研究の実施

1) 第 60 回日本交通科学学会 学術講演会

開催日：2024 年 9 月 3 日（火）～ 4 日（水）

会 場：日本大学理工学部 タワー・スコラ（現地開催：東京都千代田区神田駿河台）

大会長：松田 礼（日本大学理工学部 教授）

2) 研究部会・研究：助成研究

(1) 助成研究

(一社) 日本損害保険協会 自賠償運用益抛出 助成研究研究責任者：一杉 正仁

研究テーマ：「体調起因性事故予防に向けた効果的なドライバーモニタリング及び運転支援技術の
検討」

2023 年度から 3 年継続（2023～2025 年度予定）

(2) 受託研究

(一社) 日本自動車工業会 委託研究

新規研究 6 件 継続研究 3 件 + 依頼研究 1 件

【新規 6 件】

- 1 自動車事故および歩行者事故による重症損傷予防に向けた、関連因子の検討
石井 亘 [京都第二赤十字病院 救命救急センター]
- 2 自動車運転中の意図的な衝突による死亡事例の調査
大澤 資樹 [東海大学医学部基盤診療学系法医学領域]
- 3 むち打ち傷害に至らない超低速衝突における頸部傷害
櫻井 俊彰 [東京都市大学]
- 4 地域における脳卒中登録データを用いた、自動車運転中の脳卒中発症実態の解明
佐治 雅史 [国立病院機構京都医療センター救急]
- 5 電動キックボードの運転シミュレータの研究開発
杉町 敏之 [東京都市大]
- 6 妊娠中における体型の変化とハンドルとの位置関係についての検討
土川 祥 [滋賀医科大学 臨床看護学講座]

【継続 3 件】

- 1 滋賀県内の総在留外国妊婦の自動車乗車状況とシートベルト着用の実態調査
花原 恭子 [聖泉大学看護学部看護学科]
- 2 妊婦の自動車運転状況と胎児心拍数モニタリングに関する研究
立岡 弓子 [滋賀医科大学臨床看護学講座]
- 3 新規モビリティに対する被害軽減ブレーキの特性
戸田 均 [三重県警察本部科学捜査研究所]

【自工会からの依頼テーマ研究 1 件】 自転車・二輪車乗員における頭部外傷の実態調査と予防対策の検討

- 水戸部 一孝 [秋田大学 大学院理工学研究科]
渡邊 修 [東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科]
三宅 康史 [帝京大学医学部救急医学講座/附属病院高度救命救急センター]
一杉 正仁 [滋賀医科大学社会医学講座法医学部門]

以上につき、研究報告書電子版提出済 全 232 頁 冊子版印刷手配中

3. 啓発・広報事業の実施

1) 賛助会員懇談会

「第 14 回賛助会員懇談会」

2025 年 1 月 21 日 (火) 於 日本自動車会館内「くるまプラザ」

(参加 6 社 16 名ハイブリッド/動画配信あり)

●講話 2 題: ※敬称略

講師紹介・講演司会: JCTS 副会長 三宅 康史/三林 洋介 の両名

テーマ I = 「交通外傷の急性期死亡を防ぐために」

角山 泰一郎 (帝京大学医学部 教授/帝京大学附属病院 高度救命救急センター)

テーマⅡ＝「各種 VR シミュレータによる交通事故誘発要因の推定」

水戸部 一孝（秋田大学理工学研究科 教授）

2) 交通科学シンポジウム

「第 18 回交通科学シンポジウム」

2025 年 3 月 7 日（金） 於 日本自動車会館内「くるまプラザ」 （ハイブリッド/動画配信あり）
（参加者 26 名）

【開催概要】

●メインテーマ：緊急車両に備える反射材

一般参加費：無料 定員：先着 70 名（現地/オンライン参加） 参加 26 名（Web 参加 10 名）

主催：（一社）日本交通科学学会 後援：（一社）日本損害保険協会

[プログラム]

13：30～13：40 開会挨拶 一杉正仁

（滋賀医科大学医学講座法医学部門 一般社団法人 日本交通科学学会 副会長）

13：40～ シンポジウム

（13：40～14：05） 演題「救急救命士の殉職事故から本学会検討委員会での議論」 講師 吉
沢 彰洋（国士舘大学大学院救急システム研究科）

（14：10～14：35） 演題「再帰性反射材輪郭貼付の有効性に関する研究」 講師 三林 洋介
（玉川大学工学部デザインサイエンス学科）

（14：40～15：05） 演題「視認性に優れた緊急自動車にするための検討会」 講師 中村 俊介
（横浜労災病院 救命救急センター）

（15：10～15：35） 演題「海外と本邦における高視認性マーキングの実態」 講師 内尾 公治
（株式会社赤尾 特需部）

15：35～15：50 休憩

15：50～16：20 総合討論パネルディスカッション 「反射材学術的ガイドライン」

司会：一杉正仁（滋賀医科大学社会医学講座法医学部門）

16：25～16：30 閉会挨拶 三宅康史

（一般社団法人 日本交通科学学会 副会長・帝京大学医学部救急医学講座）

3) 出版物の発行

「日本交通科学学会誌」2024（Vol.24 シリーズ）

・第 24 巻補冊：第 60 回 総会・学術講演会講演集（2024 年 8 月発行）

・No.1（2024 年 12 月 発行）

・No.2（2025 年 3 月 発行）

4) その他

以上